2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名	株式会社福井銀行	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	8362	URL	https://www.fukuibank.co.jp/
代　　表　　者	（役職名）代表執行役頭取	（氏名）長谷川　英一	
問合せ先責任者	（役職名）執行役員経営管理グループマネージャー	（氏名）上　修一郎	TEL　0776-24-2030 Mail　fbk01101@fukuibank.jp
半期報告書提出予定日	2026年11月20日	配当支払開始予定日	2026年12月８日

特定取引勘定設置の有無　　無
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満、小数点第１位未満は切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績

（%表示は、対前年中間期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	48,848	33.3	4,587	△6.7	7,157	207.9
2026年３月期中間期	36,625	16.0	4,918	△21.5	2,323	△57.0

（注）包括利益　　2027年３月期中間期　　7,600百万円（△30.9%）　　2026年３月期中間期　　11,013百万円（ 174.1%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円　銭	円　銭
2027年３月期中間期	302.48	―
2026年３月期中間期	98.18	―

（注）「潜在株式調整後１株当たり中間純利益」については、潜在株式がないので記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	4,242,639	158,772	3.7
2026年３月期	4,314,363	152,972	3.5

（参考）自己資本　　2027年３月期中間期 158,664百万円　　2026年３月期 152,886百万円

（注）「自己資本比率」は、（期末純資産の部合計－期末非支配株主持分）を期末資産の部合計で除して算出しております。
なお、「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2026年３月期	―	29.00	―	79.00	108.00
2027年３月期	―	75.00			
2027年３月期(予想)			―	75.00	150.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	10,200	△24.0	9,000	4.6	380.45

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　有

新規　　―社（社名）―　　、除外　　１社（社名）株式会社福邦銀行

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	24,144,669株	2026年３月期	24,144,669株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	432,257株	2026年３月期	488,536株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	23,662,404株	2026年３月期中間期	23,669,050株

（注）期末自己株式数には、従業員持株専用信託が保有する当行株式数（2027年３月期中間期118,600株、2026年３月期136,900株）及び役員向け株式交付信託が保有する当行株式数（2027年３月期中間期259,000株、2026年３月期297,400株）を含めております。

また、期中平均株式数を算定するにあたり、従業員持株専用信託が保有する当行株式数の期中平均株式数（2027年３月期中間期130,666株、2026年３月期中間期197,359株）及び役員向け株式交付信託が保有する当行株式数の期中平均株式数（2027年３月期中間期297,190株、2026年３月期中間期184,765株）を控除する自己株式数に含めております。

（個別業績の概要）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の個別業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）個別経営成績　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	42,890	49.6	5,553	△13.2	12,768	200.1
2026年３月期中間期	28,659	23.4	6,404	3.7	4,253	△23.2

	１株当たり中間純利益
	円　銭
2027年３月期中間期	539.60
2026年３月期中間期	179.70

（２）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	4,230,100	148,545	3.5
2026年３月期	3,921,438	136,999	3.4

（参考）自己資本　2027年３月期中間期 148,545百万円　　2026年３月期 136,999百万円

（注）「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

２．2027年３月期の個別業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	11,100	△23.9	14,300	35.7	604.49

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

１．業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。（詳細は、【添付資料】Ｐ．３「１．（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」並びにＰ．28「（14）2027年３月期業績予想等」をご覧ください。）

２．当行は、特定事業会社（企業内容等の開示に関する内閣府令第18条第２項に規定する事業を行う会社）に該当するため、中間会計期間については、第２種中間連結財務諸表及び第２種中間財務諸表を作成しております。

【添付資料】

目　　次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 3
（１）連結経営成績に関する説明 …… 3
（２）連結財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結株主資本等変動計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 ……10
（５）重要な後発事象 ……10
（６）セグメント情報等の注記 ……10
（７）中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記 ……10
（８）企業結合等関係 ……10
（９）追加情報 ……11
３．中間財務諸表 ……12
（１）中間貸借対照表 ……12
（２）中間損益計算書 ……14
（３）中間株主資本等変動計算書 ……15
４．補足情報 ……19
≪2026年度中間決算資料≫
（１）総括（損益の概要） ……20
（２）損益状況 ……21
（３）業務純益 ……23
（４）利鞘 ……23
（５）ＲＯＥ ……23
（６）有価証券関係損益 ……23
（７）有価証券の時価評価 ……24
（８）自己資本比率（国内基準） ……24
（９）貸倒引当金の状況 ……25
(10) 金融再生法開示債権 ……25
(11) 金融再生法開示債権の保全状況 ……25
(12) 貸出金の状況 ……26
①業種別貸出金残高 ……26
②中小企業等貸出金残高及び消費者ローン残高 ……26
③貸出金残高（末残・平残） ……26
(13) 預金等の状況 ……27
①預金等残高（末残・平残） ……27
②個人・法人別預金等残高（含む譲渡性預金） ……27

③預り資産残高 ……27
(14) 2027年３月期業績予想等 ……28
①業績予想 ……28
②配当金 ……28

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する説明

当中間期の連結経営成績につきましては、経常収益は、地域の課題解決業としてお客さまの真の課題に寄り添い、グループ一体となった粘り強い支援・伴走により、利回り改善を図りつつ貸出金利息を増加させた結果、前年同期比122億22百万円増加し488億48百万円となりました。また、経常費用は、金利上昇による預金利息の増加及び株式会社福邦銀行（以下、「福邦銀行」という。）との経営統合に伴う物件費の増加を主因に、前年同期比125億52百万円増加し442億60百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比３億30百万円減少し45億87百万円となりました。法人税等の減少により、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比48億33百万円増加し71億57百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する説明

当中間期末の連結財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末比717億円減少し４兆2,426億円、純資産は前連結会計年度末比57億円増加し1,587億円となりました。

主要勘定につきましては、貸出金は、前連結会計年度末比1,214億円増加し２兆5,640億円となりました。譲渡性預金を含めた預金等は、前連結会計年度末比191億円減少し３兆3,903億円となりました。また、有価証券は、前連結会計年度末比1,116億円減少し8,667億円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期通期の連結業績予想につきましては、2026年５月15日公表の業績予想から変更はありません。（詳細は、「４．補足情報（14）2027年３月期業績予想等」をご参照ください。）

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
現金預け金	800,280	716,779
金銭の信託	7,302	3,026
有価証券	978,465	866,771
貸出金	2,442,519	2,564,003
外国為替	9,530	10,403
その他資産	52,231	53,430
有形固定資産	29,340	28,752
無形固定資産	618	607
退職給付に係る資産	－	608
繰延税金資産	2,723	5,672
支払承諾見返	11,407	11,781
貸倒引当金	△20,056	△19,199
資産の部合計	4,314,363	4,242,639
負債の部		
預金	3,331,361	3,312,791
譲渡性預金	78,076	77,509
売現先勘定	12,742	－
債券貸借取引受入担保金	301,303	260,635
借用金	376,058	374,403
外国為替	141	141
その他負債	41,563	37,917
賞与引当金	485	731
役員賞与引当金	33	23
退職給付に係る負債	4,685	4,806
役員退職慰労引当金	37	－
役員株式給付引当金	324	278
睡眠預金払戻損失引当金	134	97
偶発損失引当金	274	229
ポイント引当金	79	87
固定資産解体費用引当金	12	12
繰延税金負債	248	－
再評価に係る繰延税金負債	2,423	2,418
支払承諾	11,407	11,781
負債の部合計	4,161,391	4,083,867

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
純資産の部		
資本金	17,965	17,965
資本剰余金	10,083	10,083
利益剰余金	108,774	114,038
自己株式	△901	△798
株主資本合計	135,921	141,288
その他有価証券評価差額金	11,157	11,744
土地再評価差額金	5,274	5,264
退職給付に係る調整累計額	533	367
その他の包括利益累計額合計	16,964	17,376
非支配株主持分	86	107
純資産の部合計	152,972	158,772
負債及び純資産の部合計	4,314,363	4,242,639

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
経常収益	36,625	48,848
資金運用収益	21,451	29,539
（うち貸出金利息）	14,818	18,913
（うち有価証券利息配当金）	4,101	6,774
役務取引等収益	5,627	5,663
その他業務収益	5,207	5,936
その他経常収益	4,339	7,709
経常費用	31,707	44,260
資金調達費用	3,664	6,984
（うち預金利息）	2,912	5,193
役務取引等費用	1,980	1,852
その他業務費用	6,000	14,519
営業経費	16,796	19,643
その他経常費用	3,266	1,261
経常利益	4,918	4,587
特別利益	24	670
固定資産処分益	24	－
退職給付制度改定益	－	670
特別損失	298	75
固定資産処分損	64	36
減損損失	1	38
過去勤務費用償却額	233	－
税金等調整前中間純利益	4,643	5,183
法人税、住民税及び事業税	2,540	1,330
法人税等調整額	△228	△3,326
法人税等合計	2,311	△1,995
中間純利益	2,331	7,178
非支配株主に帰属する中間純利益	7	21
親会社株主に帰属する中間純利益	2,323	7,157

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年４月１日 至 2025年９月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年４月１日 至 2026年９月30日)
中間純利益	2,331	7,178
その他の包括利益	8,681	421
その他有価証券評価差額金	8,683	587
退職給付に係る調整額	△2	△166
中間包括利益	11,013	7,600
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	11,005	7,578
非支配株主に係る中間包括利益	7	21

（３）中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 2025年４月１日　　至 2025年９月30日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	17,965	10,075	101,664	△826	128,879
当中間期変動額					
剰余金の配当			△793		△793
土地再評価差額金の取崩			0		0
親会社株主に帰属する中間純利益			2,323		2,323
自己株式の取得				△300	△300
自己株式の処分		7		176	183
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）					
当中間期変動額合計	－	7	1,530	△123	1,413
当中間期末残高	17,965	10,083	103,195	△950	130,293

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,103	5,274	121	7,499	71	136,450
当中間期変動額						
剰余金の配当						△793
土地再評価差額金の取崩						0
親会社株主に帰属する中間純利益						2,323
自己株式の取得						△300
自己株式の処分						183
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	8,683	△0	△2	8,681	7	8,689
当中間期変動額合計	8,683	△0	△2	8,681	7	10,103
当中間期末残高	10,787	5,274	119	16,181	78	146,553

当中間連結会計期間(自 2026年４月１日　　至 2026年９月30日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	17,965	10,083	108,774	△901	135,921
当中間期変動額					
剰余金の配当			△1,903		△1,903
土地再評価差額金の取崩			9		9
親会社株主に帰属する中間純利益			7,157		7,157
自己株式の取得				△2	△2
自己株式の処分				104	104
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	－	－	5,264	102	5,366
当中間期末残高	17,965	10,083	114,038	△798	141,288

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	11,157	5,274	533	16,964	86	152,972
当中間期変動額						
剰余金の配当						△1,903
土地再評価差額金の取崩						9
親会社株主に帰属する中間純利益						7,157
自己株式の取得						△2
自己株式の処分						104
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	587	△9	△166	411	21	432
当中間期変動額合計	587	△9	△166	411	21	5,799
当中間期末残高	11,744	5,264	367	17,376	107	158,772

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）重要な後発事象

該当事項はありません。

（６）セグメント情報等の注記

【セグメント情報】

当行グループは、総合金融サービス業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（７）中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記

中間連結会計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	792百万円	827百万円

（８）企業結合等関係

（連結子会社の吸収合併）

当行は、当行を存続会社、当行の完全子会社である福邦銀行を消滅会社とする吸収合併に関する事項について、2024年11月８日開催の両行の取締役会で決議のうえ合併契約書を締結し、2026年４月27日に両行の合併に係る認可（銀行法第30条第１項）を取得したことに伴い、2026年５月２日付で合併を行っております。

① 企業結合の概要

ア．被結合当事企業の名称及び事業の内容

名称：株式会社福邦銀行

事業の内容：銀行業

イ．企業結合日

2026年５月２日

ウ．企業結合の法的形式

当行を存続会社、福邦銀行を消滅会社とする吸収合併

エ．結合後企業の名称

株式会社福井銀行

オ．その他の取引の概要に関する事項

福井県内最大の金融グループとして、今後一層の地域価値を創造し、生み出された価値が循環し続ける未来を実現するために、本合併によって「地域の課題解決業としての進化」、「シナジー効果の最大化」及び「ガバナンスの変革」を実施し、金融サービス業を中心とした伝統的なビジネスモデルからの変革と進化を遂げることを目的としております。

② 実施した会計処理の概要

本合併は、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号　平成31年（2019年）１月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号　平成31年（2019年）１月16日）における共通支配下の取引として処理しております。

なおこれにより、当事業年度において、合併効力発生日において吸収合併消滅会社から受け入れる資産及び負債の差額と、当行が所有する子会社株式の帳簿価額との差額を特別利益（抱合せ株式消滅差益）として、当行の個別財務諸表において44億23百万円計上しております。

（９）追加情報

（退職給付制度の一部改定）

当行と福邦銀行は、2026年５月２日付で合併に伴う制度統一の一環として、福邦銀行の確定給付企業年金規約型企業年金制度の一部を除き確定拠出年金制度へ移行しており、また福邦銀行の退職一時金制度を当行の退職一時金制度に統合しております。

移行等に伴う会計処理については、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第１号　平成28年（2016年）12月16日）及び「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第２号　平成19年（2007年）２月７日）を適用し、確定拠出年金制度へ移行する部分について退職給付制度の一部終了の処理等を行いました。

これにより、当中間連結会計期間において、6億70百万円の特別利益を計上しております。

３．中間財務諸表

（１）中間貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 (2026年３月31日)	当中間会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
現金預け金	712,335	716,750
金銭の信託	7,302	3,026
有価証券	987,348	868,319
貸出金	2,166,638	2,589,149
外国為替	9,530	10,403
その他資産	11,727	13,806
有形固定資産	27,670	28,323
無形固定資産	377	514
前払年金費用	－	535
繰延税金資産	1,894	4,848
支払承諾見返	11,287	11,781
貸倒引当金	△14,674	△17,357
資産の部合計	3,921,438	4,230,100
負債の部		
預金	2,965,444	3,318,704
譲渡性預金	82,676	81,509
売現先勘定	12,742	－
債券貸借取引受入担保金	301,303	260,635
借用金	373,983	372,978
外国為替	141	141
その他負債	28,803	26,822
未払法人税等	4,006	545
リース債務	12	22
その他の負債	24,783	26,254
賞与引当金	178	637
役員賞与引当金	33	23
退職給付引当金	4,794	5,267
役員株式給付引当金	324	278
睡眠預金払戻損失引当金	87	97
偶発損失引当金	200	229
固定資産解体費用引当金	－	12
ポイント引当金	16	16
再評価に係る繰延税金負債	2,423	2,418
支払承諾	11,287	11,781
負債の部合計	3,784,438	4,081,555

(単位：百万円)

	前事業年度 (2026年３月31日)	当中間会計期間 (2026年９月30日)
純資産の部		
資本金	17,965	17,965
資本剰余金	2,747	2,747
資本準備金	2,614	2,614
その他資本剰余金	133	133
利益剰余金	100,923	111,799
利益準備金	17,965	17,965
その他利益剰余金	82,958	93,833
圧縮積立金	335	329
別途積立金	70,930	77,930
繰越利益剰余金	11,692	15,573
自己株式	△901	△798
株主資本合計	120,735	131,713
その他有価証券評価差額金	10,989	11,567
土地再評価差額金	5,274	5,264
評価・換算差額等合計	16,263	16,831
純資産の部合計	136,999	148,545
負債及び純資産の部合計	3,921,438	4,230,100

（２）中間損益計算書

（単位：百万円）

	前中間会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
経常収益	28,659	42,890
資金運用収益	19,702	29,922
（うち貸出金利息）	12,263	18,610
（うち有価証券利息配当金）	5,329	8,032
役務取引等収益	4,187	4,544
その他業務収益	422	777
その他経常収益	4,346	7,645
経常費用	22,254	37,336
資金調達費用	3,603	6,900
（うち預金利息）	2,580	5,121
役務取引等費用	1,860	2,091
その他業務費用	1,284	9,436
営業経費	12,527	17,584
その他経常費用	2,978	1,323
経常利益	6,404	5,553
特別利益	24	5,094
固定資産処分益	24	－
抱合せ株式消滅差益	－	4,423
退職給付制度改定益	－	670
特別損失	20	73
固定資産処分損	19	34
減損損失	1	38
税引前中間純利益	6,407	10,574
法人税、住民税及び事業税	2,234	1,154
法人税等調整額	△80	△3,347
法人税等合計	2,154	△2,193
中間純利益	4,253	12,768

（３）中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 2025年４月１日　至 2025年９月30日)

（単位：百万円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	17,965	2,614	126	2,740
当中間期変動額				
剰余金の配当				
圧縮積立金の取崩				
別途積立金の積立				
土地再評価差額金の取崩				
中間純利益				
自己株式の取得				
自己株式の処分			7	7
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）				
当中間期変動額合計	－	－	7	7
当中間期末残高	17,965	2,614	133	2,747

	株主資本						
	利益剰余金					自己株式	株主資本合計
	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計		
		圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	17,965	347	65,930	7,637	91,880	△826	111,760
当中間期変動額							
剰余金の配当				△793	△793		△793
圧縮積立金の取崩		△5		5	－		－
別途積立金の積立			5,000	△5,000	－		－
土地再評価差額金の取崩				0	0		0
中間純利益				4,253	4,253		4,253
自己株式の取得						△300	△300
自己株式の処分						176	183
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）							
当中間期変動額合計	－	△5	5,000	△1,534	3,460	△123	3,343
当中間期末残高	17,965	341	70,930	6,103	95,340	△950	115,103

(単位：百万円)

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	1,924	5,274	7,199	118,959
当中間期変動額				
剰余金の配当				△793
圧縮積立金の取崩				－
別途積立金の積立				－
土地再評価差額金の取崩				0
中間純利益				4,253
自己株式の取得				△300
自己株式の処分				183
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	8,681	△0	8,680	8,680
当中間期変動額合計	8,681	△0	8,680	12,024
当中間期末残高	10,605	5,274	15,879	130,983

当中間会計期間(自 2026年４月１日　至 2026年９月30日)

(単位：百万円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	17,965	2,614	133	2,747
当中間期変動額				
剰余金の配当				
圧縮積立金の取崩				
別途積立金の積立				
土地再評価差額金の取崩				
中間純利益				
自己株式の取得				
自己株式の処分				
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)				
当中間期変動額合計	－	－	－	－
当中間期末残高	17,965	2,614	133	2,747

	株主資本						
	利益剰余金					自己株式	株主資本合計
	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計		
		圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	17,965	335	70,930	11,692	100,923	△901	120,735
当中間期変動額							
剰余金の配当				△1,903	△1,903		△1,903
圧縮積立金の取崩		△5		5	－		－
別途積立金の積立			7,000	△7,000	－		－
土地再評価差額金の取崩				9	9		9
中間純利益				12,768	12,768		12,768
自己株式の取得						△2	△2
自己株式の処分						104	104
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)							
当中間期変動額合計	－	△5	7,000	3,880	10,875	102	10,977
当中間期末残高	17,965	329	77,930	15,573	111,799	△798	131,713

(単位：百万円)

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	10,989	5,274	16,263	136,999
当中間期変動額				
剰余金の配当				△1,903
圧縮積立金の取崩				－
別途積立金の積立				－
土地再評価差額金の取崩				9
中間純利益				12,768
自己株式の取得				△2
自己株式の処分				104
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	578	△9	568	568
当中間期変動額合計	578	△9	568	11,546
当中間期末残高	11,567	5,264	16,831	148,545

４．補足情報

【計数の表示方法について】

2026年5月2日付で福井銀行及び福邦銀行は、福井銀行を存続会社、福邦銀行を消滅会社として合併を行っております。
本補足情報における【福井銀行単体】の計数につきましては、各項目の適正な期間比較を行う観点から、下記のルールに則り算出した計数を記載しております。

○2026年度中間期
2026年4月1日から2026年9月30日の福井銀行の計数と、2026年4月1日から2026年5月1日の福邦銀行の計数を単純合算

○2025年度中間期
福井銀行及び福邦銀行の計数を単純合算

○2026年9月末（貸出金残高（平残）・預金等残高（平残）を除く）
福井銀行の計数

○2026年9月末（貸出金残高（平残）・預金等残高（平残））
福井銀行の計数に、2026年4月1日から2026年5月1日までの福邦銀行の計数を単純合算

○2025年9月末、2026年3月末（自己資本比率を除く）
福井銀行及び福邦銀行の計数を単純合算

○2025年9月末、2026年3月末（自己資本比率）
福井銀行の計数

≪2026年度中間決算資料≫

（1）総括（損益の概要）

【主なトピック】

○ 連結経常収益は、地域の課題解決業としてお客さまの真の課題に寄り添い、グループ一体となった粘り強い支援・伴走の結果として、利回り改善を図りつつ貸出金利息を増加させているほか、役務取引等収益も堅調に推移しており、前年同期比で122億22百万円増加し488億48百万円となりました。

○ 連結経常利益は、市場金利動向を踏まえて有価証券ポートフォリオの戦略的な見直しを行ったことや、政策金利引上げにより預金利息が増加したこと、福邦銀行との経営統合費用を計上したことで、前年同期比で3億30百万円減少し45億87百万円となりました。

○ 親会社株主に帰属する中間純利益は、法人税等の減少により、前年同期比で48億33百万円増加し71億57百万円となりました。

○ 福井銀行単体においては、連結経営成績の増減要因に加えて、抱合せ株式消滅差益44億23百万円を特別損益に計上したことで、中間純利益が増加しております。

【連結】 （百万円）

	2025年度中間期 (A)	2026年度中間期 (B)	増減 (B) － (A)
経常収益	36,625	48,848	12,222
経常利益	4,918	4,587	△ 330
親会社株主に帰属する中間純利益	2,323	7,157	4,833

【福井銀行単体】 （百万円）

	2025年度中間期 (A)	2026年度中間期 (B)	増減 (B) － (A)
経常収益	32,096	43,614	11,518
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	5,460	6,269	808
経常利益	5,797	5,239	△ 558
中間純利益	3,299	12,451	9,151

（２）損益状況

【連結】

（百万円）

	2025年度中間期（A）	2026年度中間期（B）	増　減（B）－（A）
業務粗利益	20,647	17,795	△ 2,852
（除く債券関係損益）	21,632	27,132	5,499
資金利益	17,793	22,567	4,774
役務取引等利益	3,647	3,810	163
その他業務利益	△ 793	△ 8,582	△ 7,789
（うち債券関係損益）	△ 985	△ 9,337	△ 8,351
経費（除く臨時処理分）	16,775	19,661	2,885
人件費	7,522	8,364	841
物件費	8,334	10,168	1,834
税金	918	1,128	209
実質業務純益	3,871	△ 1,866	△ 5,737
コア業務純益	4,856	7,470	2,613
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	4,788	5,588	799
コア業務純益（除く経営統合費用及び投資信託解約損益）	7,019	9,532	2,512
①一般貸倒引当金繰入額	△ 201	551	753
業務純益	4,073	△ 2,418	△ 6,491
うち債券関係損益	△ 985	△ 9,337	△ 8,351
臨時損益	844	7,006	6,161
②不良債権処理額	3,218	393	△ 2,825
貸出金償却	758	375	△ 383
個別貸倒引当金繰入額	2,383	△ 88	△ 2,471
債権売却損	－	3	3
偶発損失引当金繰入額等	75	102	26
（貸倒償却引当費用①＋②）	3,016	944	△ 2,071
③償却債権取立益	347	97	△ 250
④偶発損失引当金戻入益	25	44	18
株式等関係損益	3,475	6,652	3,177
その他臨時損益	214	605	390
経常利益	4,918	4,587	△ 330
特別損益	△ 274	595	870
うち固定資産処分損益	△ 40	△ 36	3
うち退職給付制度改定益	－	670	670
うち減損損失	1	38	37
税金等調整前中間純利益	4,643	5,183	540
法人税、住民税及び事業税	2,540	1,330	△ 1,209
法人税等調整額	△ 228	△ 3,326	△ 3,097
法人税等合計	2,311	△ 1,995	△ 4,306
中間純利益	2,331	7,178	4,847
非支配株主に帰属する中間純利益	7	21	13
親会社株主に帰属する中間純利益	2,323	7,157	4,833

与信関係費用①＋②－③－④	2,642	803	△ 1,839

（注）１.業務粗利益 ＝（資金運用収益 － 資金調達費用 ＋ 金銭の信託運用見合費用）
＋（役務取引等収益－役務取引等費用）＋（その他業務収益－その他業務費用）

２.業務純益 ＝ 業務粗利益 － 営業経費(除く臨時処理分) － 一般貸倒引当金繰入額

３.コア業務純益（除く経営統合費用及び投資信託解約損益）における経営統合費用には資本的支出を含めておりません。資本的支出を含めた経営統合費用は、2025年9月期2,231百万円、2026年9月期4,096百万円であります。

【福井銀行単体】

(百万円)

	2025年度中間期 (A)	2026年度中間期 (B)	増 減 (B) － (A)
業務粗利益	20,148	17,259	△ 2,889
(除く債券関係損益)	21,134	26,596	5,462
資金利益	18,725	23,458	4,732
役務取引等利益	2,285	2,460	175
その他業務利益	△ 862	△ 8,659	△ 7,796
(うち債券関係損益)	△ 985	△ 9,337	△ 8,351
経費(除く臨時処理分)	15,605	18,445	2,839
人件費	6,770	7,508	737
物件費	7,940	9,831	1,890
税金	894	1,104	210
実質業務純益	4,543	△ 1,185	△ 5,728
コア業務純益	5,528	8,151	2,623
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	5,460	6,269	808
コア業務純益(除く経営統合費用及び投資信託解約損益)	7,691	10,212	2,521
①一般貸倒引当金繰入額	△ 199	487	687
業務純益	4,742	△ 1,673	△ 6,415
うち債券関係損益	△ 985	△ 9,337	△ 8,351
臨時損益	1,054	6,912	5,857
②不良債権処理額	3,044	435	△ 2,608
貸出金償却	752	371	△ 381
個別貸倒引当金繰入額	2,241	△ 41	△ 2,282
債権売却損	－	3	3
偶発損失引当金繰入額等	50	102	51
(貸倒償却引当費用①＋②)	2,844	923	△ 1,921
③償却債権取立益	347	96	△ 250
④偶発損失引当金戻入益	－	44	44
株式等関係損益	3,475	6,652	3,177
その他臨時損益	276	554	277
経常利益	5,797	5,239	△ 558
特別損益	△ 336	5,019	5,356
うち固定資産処分損益	△ 101	△ 36	65
うち抱合せ株式消滅差益	－	4,423	4,423
うち退職給付制度改定益	－	670	670
うち減損損失	1	38	37
税引前中間純利益	5,461	10,258	4,797
法人税、住民税及び事業税	2,241	1,155	△ 1,086
法人税等調整額	△ 80	△ 3,347	△ 3,267
法人税等合計	2,161	△ 2,192	△ 4,354
中間純利益	3,299	12,451	9,151

与信関係費用①＋②－③－④	2,497	782	△ 1,715

(注)コア業務純益(除く経営統合費用及び投資信託解約損益)における経営統合費用には資本的支出を含めておりません。資本的支出を含めた経営統合費用は、2025年9月期2,231百万円、2026年9月期4,096百万円であります。

（3）業務純益

【福井銀行単体】

（百万円）

	2025年度中間期（A）	2026年度中間期（B）	増　減（B）－（A）
実質業務純益	4,543	△ 1,185	△ 5,728
職員一人当たり（千円）	2,953	△ 741	△ 3,694
業務純益	4,742	△ 1,673	△ 6,415
職員一人当たり（千円）	3,083	△ 1,045	△ 4,129

（4）利鞘

【福井銀行単体】

（%）

	2025年度中間期（A）	2026年度中間期（B）	増　減（B）－（A）
資金運用利回（①）	1.06	1.44	0.38
貸出金利回	1.23	1.49	0.26
有価証券利回	1.10	1.74	0.64
資金調達原価（②）	0.93	1.22	0.29
預金等利回	0.17	0.31	0.14
外部負債利回	0.14	0.13	△ 0.01
経費率	0.90	1.06	0.16
総資金利鞘（①）－（②）	0.13	0.22	0.09

(注) 1.外部負債 ＝ コールマネー ＋ 売渡手形 ＋ 借用金
2.分母となる平均残高は、福井銀行の計数に、2026年4月1日から2026年5月1日までの福邦銀行の計数を単純合算して算出しております。

（5）ＲＯＥ

【連結】

（%）

	2025年度中間期（A）	2026年度中間期（B）	増　減（B）－（A）
実質業務純益ベース	5.45	△ 2.39	△ 7.84
業務純益ベース	5.74	△ 3.10	△ 8.84
中間純利益ベース	3.27	9.16	5.89

(注) 分母となる自己資本平均残高は、（期首自己資本+期末自己資本）÷2により算出しております。

【福井銀行単体】

（%）

	2025年度中間期（A）	2026年度中間期（B）	増　減（B）－（A）
実質業務純益ベース	6.52	△ 1.59	△ 8.11
業務純益ベース	6.81	△ 2.24	△ 9.05
中間純利益ベース	4.74	16.64	11.90

(注) 分母となる自己資本平均残高は、（期首自己資本+期末自己資本）÷2により算出しております。
なお、2026年度中間期における期首自己資本は、福井銀行及び福邦銀行の期首時点の自己資本を合算して算出しております。

（6）有価証券関係損益

【福井銀行単体】

（百万円）

	2025年度中間期（A）	2026年度中間期（B）	増　減（B）－（A）
債券関係損益	△ 985	△ 9,337	△ 8,351
国債等債券売却益	132	0	△ 132
国債等債券償還益	－	－	－
国債等債券売却損	1,117	9,337	8,219
国債等債券償還損	－	－	－
国債等債券償却	－	－	－
株式関係損益	3,475	6,652	3,177
株式等売却益	3,716	6,939	3,222
株式等売却損	205	268	63
株式等償却	35	17	△ 17

（7）有価証券の時価評価

○有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法（評価差額を損益処理）
満期保有目的有価証券	償却原価法
その他有価証券	時価法（評価差額を全部純資産直入）
子会社株式	原価法

【福井銀行単体】

（百万円）

	2026年3月末			2026年9月末			
	評価差額			評価差額			
		評価益	評価損		前期比	評価益	評価損
満期保有目的	△6,460	－	6,460	△7,754	△1,293	－	7,754
その他有価証券	14,683	34,235	19,551	15,829	1,145	33,460	17,631
株式	27,565	28,163	598	28,989	1,423	29,289	300
債券	△13,921	165	14,087	△12,095	1,826	91	12,187
その他	1,040	5,905	4,865	△1,064	△2,104	4,079	5,143
合計	8,223	34,235	26,011	8,075	△148	33,460	25,385

（注） 1.「その他有価証券」については、期末に時価評価した価額を貸借対照表に計上しておりますので、上記の表上の評価差額は、貸借対照表計上額と取得価額との差額を計上しております。

2.税効果を勘案した後の「その他有価証券評価差額金」は、2026年3月末は10,989百万円、2026年9月末は11,567百万円であります。

（8）自己資本比率（国内基準）

【連結】

（百万円）

	2025年9月末 (A)	2026年9月末 (B)	増減 (B) － (A)	2026年3月末 (C)	増減 (B) － (C)
(1) 連結自己資本比率 ((2)/(3))	8.05%	8.51%	0.46%	8.15%	0.36%
(2) 連結における自己資本の額	135,580	145,801	10,220	140,290	5,510
(3) リスク・アセットの額	1,683,864	1,712,950	29,085	1,719,533	△ 6,583
(4) 連結総所要自己資本額 ((3)×4%)	67,354	68,518	1,163	68,781	△ 263

【福井銀行単体】

（百万円）

	2025年9月末 (A)	2026年9月末 (B)	増減 (B) － (A)	2026年3月末 (C)	増減 (B) － (C)
(1) 自己資本比率 ((2)/(3))	8.33%	8.07%	△ 0.26%	8.34%	△ 0.27%
(2) 単体における自己資本の額	120,448	136,213	15,764	124,691	11,521
(3) リスク・アセットの額	1,444,800	1,687,323	242,522	1,495,044	192,278
(4) 単体総所要自己資本額 ((3)×4%)	57,792	67,492	9,700	59,801	7,691

(注)2025年9月末、2026年3月末の計数は、福邦銀行を含まない福井銀行単体の計数を記載しております。

（９）貸倒引当金の状況

【連結】

（百万円）

	2025年9月末 (A)	2026年9月末 (B)	増減 (B) － (A)	2026年3月末 (C)	増減 (B) － (C)
貸倒引当金	19,860	19,199	△ 661	20,056	△ 856
一般貸倒引当金	7,558	7,704	146	7,152	551
個別貸倒引当金	12,302	11,494	△ 807	12,903	△ 1,408

【福井銀行単体】

（百万円）

	2025年9月末 (A)	2026年9月末 (B)	増減 (B) － (A)	2026年3月末 (C)	増減 (B) － (C)
貸倒引当金	17,961	17,357	△ 604	18,182	△ 824
一般貸倒引当金	7,875	7,862	△ 13	7,374	487
個別貸倒引当金	10,085	9,495	△ 590	10,807	△ 1,312

（１０）金融再生法開示債権

【福井銀行単体】

（百万円）

	2025年9月末 (A)	2026年9月末 (B)	増減 (B) － (A)	2026年3月末 (C)	増減 (B) － (C)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,737	3,444	△ 2,293	4,646	△ 1,202
危険債権	38,241	39,236	995	39,315	△ 79
要管理債権	1,137	1,146	8	1,096	49
金融再生法開示債権合計	45,116	43,827	△ 1,289	45,058	△ 1,231
（部分直接償却額）	(6,180)	(4,768)	(△ 1,411)	(4,320)	(447)
総与信残高（末残）	2,475,071	2,620,906	145,834	2,494,202	126,703

破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.23%	0.13%	△ 0.10%	0.18%	△ 0.05%
危険債権	1.54%	1.49%	△ 0.05%	1.57%	△ 0.08%
要管理債権	0.04%	0.04%	0.00%	0.04%	0.00%
総与信残高比合計	1.82%	1.67%	△ 0.15%	1.80%	△ 0.13%

（１１）金融再生法開示債権の保全状況

【福井銀行単体】

（百万円）

	2025年9月末 (A)	2026年9月末 (B)	増減 (B) － (A)	2026年3月末 (C)	増減 (B) － (C)
保全額	35,190	35,089	△ 100	37,116	△ 2,026
貸倒引当金	10,506	9,682	△ 824	11,151	△ 1,469
担保保証等	24,684	25,407	723	25,964	△ 556

保全率(保全額/開示債権額)	77.99%	80.06%	2.07%	82.37%	△ 2.31%

（１２）貸出金の状況

①業種別貸出金残高

【福井銀行単体】

（百万円）

	2025年9月末 (A)	2026年9月末 (B)	増減 (B) － (A)	2026年3月末 (C)	増減 (B) － (C)
国内店分（除く特別国際金融取引勘定）	2,448,287	2,589,149	140,862	2,463,945	125,204
製造業	222,951	241,068	18,116	246,603	△ 5,534
農業、林業	1,223	1,152	△ 71	1,271	△ 119
漁業	151	140	△ 10	138	2
鉱業、採石業、砂利採取業	511	332	△ 178	481	△ 149
建設業	89,537	93,140	3,603	93,125	15
電気・ガス・熱供給・水道業	54,503	57,595	3,091	55,707	1,887
情報通信業	8,105	7,089	△ 1,015	8,277	△ 1,188
運輸業、郵便業	42,892	57,011	14,119	49,862	7,149
卸売業、小売業	209,605	216,341	6,736	212,082	4,259
金融業、保険業	291,499	230,147	△ 61,352	223,617	6,529
不動産業、物品賃貸業	371,260	404,191	32,930	386,408	17,782
各種サービス業	173,496	174,920	1,423	175,384	△ 464
地方公共団体	306,630	327,380	20,749	307,412	19,967
その他	675,916	778,637	102,720	703,571	75,066

(注)金融業、保険業の2025年9月末の残高には、福邦銀行から福井銀行への貸出金700億円が含まれております。

②中小企業等貸出金残高及び消費者ローン残高

【福井銀行単体】

（百万円）

	2025年9月末 (A)	2026年9月末 (B)	増減 (B) － (A)	2026年3月末 (C)	増減 (B) － (C)
中小企業等貸出金残高	1,619,243	1,661,559	42,315	1,653,950	7,608
（中小企業等貸出金比率）	66.13%	64.17%	△ 1.96%	67.12%	△ 2.95%
うち消費者ローン残高	663,666	667,628	3,961	659,161	8,466
住宅ローン残高	618,625	622,801	4,175	614,315	8,485
その他ローン残高	45,040	44,826	△ 214	44,846	△ 19

③貸出金残高（末残・平残）

【福井銀行単体】

（百万円）

	2025年9月末 (A)	2026年9月末 (B)	増減 (B) － (A)	2026年3月末 (C)	増減 (B) － (C)
貸出金（末残）	2,448,287	2,589,149	140,862	2,463,945	125,204
〃（平残）	2,459,258	2,537,309	78,050	2,477,048	60,261

(注)2025年9月末の残高には、福邦銀行から福井銀行への貸出金700億円が含まれております。

（１３）預金等の状況

①預金等残高（末残・平残）

【福井銀行単体】 （百万円）

	2025年9月末 (A)	2026年9月末 (B)	増減 (B) － (A)	2026年3月末 (C)	増減 (B) － (C)
預金（末残）	3,295,093	3,318,704	23,610	3,336,458	△ 17,754
〃（平残）	3,364,810	3,367,571	2,761	3,331,340	36,231
譲渡性預金（末残）	105,920	81,509	△ 24,411	82,676	△ 1,167
〃（平残）	85,669	93,885	8,215	95,375	△ 1,490
預金+譲渡性預金（末残）	3,401,014	3,400,213	△ 800	3,419,135	△ 18,921
〃（平残）	3,450,480	3,461,456	10,976	3,426,716	34,740

②個人・法人別預金等残高（含む譲渡性預金）

【福井銀行単体】 （百万円）

	2025年9月末 (A)	2026年9月末 (B)	増減 (B) － (A)	2026年3月末 (C)	増減 (B) － (C)
預金等合計	3,401,014	3,400,213	△ 800	3,419,135	△ 18,921
個人	2,194,193	2,186,447	△ 7,746	2,202,286	△ 15,838
法人	1,206,820	1,213,766	6,945	1,216,849	△ 3,083

③預り資産残高

＜野村證券株式会社仲介口座＞ （百万円）

	2025年9月末 (A)	2026年9月末 (B)	増減 (B) － (A)	2026年3月末 (C)	増減 (B) － (C)
株式	172,232	253,491	81,258	199,541	53,949
債券	123,049	143,179	20,129	133,152	10,026
投資信託	244,053	311,395	67,341	263,147	48,248
投資一任勘定	39,310	48,594	9,284	41,341	7,252
その他	3,702	2,909	△ 792	2,338	571
合計	582,348	759,570	177,221	639,522	120,048

(注)「野村證券株式会社仲介口座」には、野村證券株式会社との包括的業務提携による同社を委託元とする金融商品仲介口座の残高を記載しております。

（１４）2027年3月期業績予想等

○ 2027年3月期通期の連結業績予想につきましては、国内外の経済情勢や金融市場の変化を踏まえ、有価証券ポートフォリオの機動的な見直し等を検討しており、これらが業績に与える影響を現時点で合理的に見積もることが困難であることから、2026年5月15日に公表しました業績予想を据え置いております。今後修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

①業績予想

【連結】 （百万円）

	2027年3月期予想	2026年3月期実績	2026年3月期比
経常利益	10,200	13,434	△ 3,234
親会社株主に帰属する当期純利益	9,000	8,601	399
1株当たり当期純利益（円）	380.45	363.64	16.81

【福井銀行単体】 （百万円）

	2027年3月期予想	2026年3月期実績	2026年3月期比
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	11,600	12,340	△ 740
コア業務純益（除く経営統合費用及び投資信託解約損益）	15,700	14,656	1,044
経常利益	11,100	14,598	△ 3,498
当期純利益	14,300	10,535	3,765

②配当金

	2027年3月期（通期）	
	中間	
1株あたり配当金	75円	150円